

# 福井県合同課題研究発表会

（主催 福井県立高志高等学校、福井県教育委員会）

## <戸山高校からの発表3件>

化学部門 「米を使ってカビの繁殖を抑えられるのか」（口頭発表）

生物部門 「多くの納豆菌を腸に届けられる方法とは!」（ポスター発表）

混合部門 「協調型マルチエージェント強化学習による学校での避難学習」（口頭発表）

東日本大震災12周年という節目の日に「恐竜王国」の異名を掲げる北陸地方へと旅立ちました。本校から「福井県合同課題研究発表会」に参加し、化学部門1名・生物部門1名・混合部門1名が研究発表しました。

化学部門発表に対して、福井大学工学部の佐々木教授より「実際にできると非常に役立つ良い研究。トコフェロールという物質が、カビの繁殖を抑えるのにどういう効果があるか、のメカニズムを深く追究するとよい」とのご講評を頂戴しました。

混合部門発表に対して、福井工業大学環境情報学部の近藤准教授より「3.11を考慮した非常に意義深い研究。人は、とりあえず外へ避難するとすぐ安心してしまうものだが、外へ出て周辺の様子―戸山公園や明治通りでの最適な避難場所―を模索探究してみるのもよい」とご講評を頂きました。

生物部門のポスター発表では「納豆菌」の研究がとても関心を引き、常時聞き手が群がる盛況の中、いきいきと発表が行われ、質疑応答も活発に行われました。多くの参加校は1組5人からなるグループ発表の形をとっていましたが、本校生徒は3人がそれぞれソロで発表し、皆様からお褒めの言葉を多く頂きました。

対面での参加校は、地元福井県の方々や富山県、石川県の北陸の高校からが主流で、県外からは、神奈川県立厚木高校と本校の参加でした。県外からはオンライン参加が多数でした。いい経験になりました。



← ポスター発表 →



口頭発表（混合部門）



JR 福井駅前の恐竜像にて